

「ポンプ・配管の腐食と対策」

ポンプと配管は、社会インフラと産業設備のあらゆる箇所で、水とエネルギーを輸送する重要な役割を果たしている。現在、世界的に水・エネルギー需要が拡大する中で、ポンプの需要と、ポンプ・配管の信頼性・耐久性向上への要求が高まっている。ポンプ・配管の信頼性を損ね寿命を短縮させる最大の原因は腐食である。本セミナーでは、水溶液腐食の基礎を学び、多様な腐食環境中でのポンプ・配管の腐食対策技術を学ぶ。

日時：2014年7月9日（水）9:30～17:20

会場：早稲田大学 西早稲田キャンパス 55号館S棟2階第三会議室

参加費：会員30,000円、非会員40,000円、学生5,000円（税別・テキスト含む）

協賛予定：

(一社)日本機械学会、(一社)日本トライボロジー学会、(公社)日本ガスタービン学会、(一社)日本航空宇宙学会、
(公社)化学工学会、石油化学工業会、(公社)石油学会、(公社)精密工学会、(公社)日本プラントメンテナンス協会、
(一社)日本鉄鋼協会、(社)日本水道協会、(一社)日本電気工業会、(一社)火力原子力発電技術協会、
(公社)腐食防食学会、(一社)配管技術研究協会、(社)日本バルブ工業会、高圧ガス保安協会、(公社)日本船舶海洋工学会

【プログラム】

時間	テーマ	内容	講師（敬称略）
9:30 ～11:30	水溶液腐食の基礎	水溶液腐食のメカニズムを基礎から平易に解説する。水の存在により腐食はなぜ発生するのか、水質は腐食にどのように影響するのかなどを考える。また、微生物腐食についても言及する。	高崎新一 元 栗田工業（株）
12:30 ～14:00	海水腐食の事例と対策（海水ポンプ・配管）	海水は塩化物をはじめ塩類濃度が高く、従って導電率も高い。そのため、不動態金属の局部腐食、異種金属接触腐食、エロージョン・コロージョンなど各種の腐食を引き起こす。海水の利用、海水と海水腐食の特徴、海水腐食の事例と対策技術などを解説する。	宮坂松甫 （株）荏原製作所
14:10 ～15:40	淡水腐食の特徴と環境因子の影響（上水・河川水系機器・配管）	日本の淡水は、欧米の硬水に比べて腐食性とされる。日本の淡水の水質的特徴および腐食性とは何かを考察する。銅管の局部腐食、黄銅の脱亜鉛腐食、ステンレス鋼の局部腐食および微生物腐食、溶融亜鉛めっき鋼管の耐久性、鉛の溶出など腐食事例に基づいて各種機器・配管における腐食問題と対策を解説する。	藤井哲雄 （有）コロージョン テック
15:50 ～17:20	高温水腐食の事例と対策（発電プラント用機器・配管）	発電プラントでは、高温水を扱う機器・配管が、応力腐食割れ、FAC（流れ加速腐食）などを発生することがあり対策が必要である。高温水の性状、発電プラント等で発生する腐食事例と対策を解説する。	谷純一 （一財）電力中央研 究所

※プログラムは都合により変更することがありますのでご了承ください。

- ・ 申込方法：Email または FAX で、①参加者名、②連絡先住所・電話番号・Email、③社名（学校名）所属、④会員／非会員の別を明記の上お申し込み下さい。お申し込み後請求書と受講票を郵送します。
- ・ 参加費は事前に、銀行振込にてお支払い下さい。
- ・ 振込銀行：みずほ銀行 駒込支店、普通預金 1142994 一般社団法人 ターボ機械協会
- ・ 申込先：〒113-8610 東京都文京区本駒込 6-3-26 日本工業出版ビル
ターボ機械協会事務局（TEL：03-3944-8002、FAX：03-3944-6826、E-mail：turbo-so@pop01.odn.ne.jp）
- ・ 申込期限：定員になり次第締切ります。申込後のキャンセルはお断りしております。

※ターボ機械協会継続教育制度が開始され、各講習会・セミナーに参加されるとポイントが付加されます。「本セミナーのターボ機械協会CPDポイントは中級6ポイントです。」

宛先：Fax. 03-3944-6826 一般社団法人ターボ機械協会 受付係
(〒113-8610 東京都文京区本駒込 6-3-26、
Tel: 03-3944-8002、E-mail: turbo-so@pop01.odn.ne.jp)

ターボ機械協会 第114回セミナー（平成26年7月9日 金曜日）

「ポンプ・配管の腐食と対策」参加申込書

参加者ご氏名	① ② ③ ④ ⑤
連絡先住所 TEL E-MAIL	(〒 -) TEL : E-MAIL :
会社名・ご所属	会社名 : ご所属 : ① ② ③ ④ ⑤
会員・非会員	会員 o r 非会員 (いずれかに○をつけてください)

上記 名の参加を申し込みます。